

おだがいさま

odagaisama

第 36 号
平成 23 年
9月15日発行

温海地域 山五十川・戸沢地区
「いつまでも元気でいてください」

福祉のつどい開催案内(P2)
共同募金運動のお願い(P3)
情報掲示板(P4)

山戸小学校1・2年生と高齢者へ毎月お弁当を届けているあたたかグループの皆さん、お弁当を利用されている方々が一堂に会し、出来たてほかほかの“あたたか弁当”と一緒に食べながら交流会を行いました。小学生は毎月このお弁当の包み紙に挿絵や「いつまでもお元気で・・・」などのメッセージ書きを担当しています。

今回は昔がたりボランティアも迎え、身振り手振りを交えての昔ばなしに身を乗り出して熱心に聞き入る小学生や、「風景が目に浮かぶようだ」と喜ぶ高齢者に、会場全体が大きな笑い声と笑顔に包まれ、「一つのお弁当」を通して世代を超えた楽しい交流会になりました。





おだかいさま

のまちづくりを目指して

福祉のつどいは、鶴岡市社会福祉協議会の基本理念である「おだかいさまのまちづくり」を進めていくために、社協が果たす役割とその活動を広く知っていただくと共に、地域住民・団体・関係者の皆様への協働を呼びかける機会とするために開催しています。

日時

平成23年**10月20日** (木)
開 会 / 午後1時30分

場所

鶴岡市中央公民館

日程

12:30 受付開始

13:30 オープニング

鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま
利用者による発表

開 会 行 事

表 彰

市社協の活動紹介

東日本大震災における市社協の取
組みと地域支え合い活動について

講 演

16:10 閉 会

※当日はすべてのステージに手話通訳・要約筆記が
つきます。

※点字資料も準備しておりますので、必要な方は
受付にお申し付け下さい。

お 申 込 み

9月30日(金)まで
最寄りの福祉センターにお申込み
ください。

多数の皆様からのご参加をお待ちしております。

※駐車場が限られておりますので、乗り合わせで
参加されるようにご協力をお願いいたします。

福祉施設製品の展示・販売



当日は、会場ロビーにて障がい者福祉
施設製品の展示・販売を行います。ぜひ
お立ち寄り下さい。

講 演

演 題 「地域が変わる。福祉も変わる。」

特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所 特別研究員

特例財団法人 社会福祉研究所 事務局長

講 師 たか はし のぶ ゆき
高 橋 信 幸 氏



昭和20年北海道生まれ。昭和43年東京都三鷹市役所入職。平成10年
に同市役所を退職して、長崎県佐世保市で長崎国際大学教授として平成
23年3月まで勤務。専門分野は福祉計画論、介護保障論で、長崎県及び
佐世保市の保健・福祉、市民参加のまちづくり関連の多くの審議会・委員
会に所属したほか、基本構想や地域福祉計画の策定に携わる。

鶴岡市社会福祉協議会

福祉のつどい開催のご案内

～ じぶんの町を良くするしくみ。～

「共同募金運動（赤い羽根・歳末たすけあい）」に ご協力お願いいたします！！



10月1日より全国一斉に共同募金運動（赤い羽根募金、歳末たすけあい募金）が始まります。

赤い羽根募金は、山形県共同募金会を通じて、平成24年度に県内の社会福祉施設・福祉団体、ボランティア活動、市社会福祉協議会の地域福祉活動などに配分され、地域福祉推進のために役立てられます。

歳末たすけあい募金は、市社会福祉協議会配分委員会において、経済的に支援を必要とする世帯や児童養護施設の入所児童・生徒などに配分する予定です。

今年度より赤い羽根・歳末たすけあい募金の世帯ごとの戸別募金額を全市統一し、**500円（赤い羽根募金 300円、歳末たすけあい募金 200円）**に見直しました。

また、戸別募金の協力依頼についても二度に分けず一度でお願いすることといたしましたので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

◎運動期間 10月1日（土）～12月31日（土）

◎目標額 21,457,000円

赤い羽根募金 15,569,000円

歳末たすけあい募金 5,888,000円

※共同募金は、地域ごとの使い道や集める額を事前に定めて募金を募る仕組みです。
詳しくは、中央共同募金会ホームページ（<http://www.akaihane.or.jp/>）をご覧ください。



共同募金は 地域福祉・ボランティア活動等 を応援します！

配分対象：社会福祉法人、公益法人、民間
組織団体、ボランティア団体等

対象事業：平成24年度に行う事業で、先駆
的な民間の社会福祉活動及び活
動の立上げ時期への支援

配分額：総事業費の3/4の額（上限30万円）

申込み：10月21日（金）まで

問合せ：山形県共同募金会鶴岡市支会
（鶴岡市社会福祉協議会内）

☎24-0053



街頭募金活動の様子



赤い羽根募金を活用した第一学区社会福祉協議会の「サマーチャレンジ事業」の様子

情報掲示板

「ホームヘルパー2級課程養成研修 平日コース」受講者募集

- 期 日 平成23年10月18日(火)～12月22日(木)
- 対象者 ヘルパーを志望され、健康で全課程に出席できる方 30名
- 会 場 鶴岡市中央公民館・地域福祉センターなえづ
- 受講料 30,000円(別途 健康診断料負担)
- 申込み 9月20日(火)～9月28日(水)【土日祭日除く】
午前9時～午後5時まで直接社会福祉協議会事務局または最寄りの福祉センターまで
説明会 9月28日(水)午後6時から
場所: 鶴岡市中央公民館 2階
※応募多数のとき同日抽選により決定させていただきます
- 問合せ 鶴岡市社会福祉協議会 事業推進課
☎24-0053

第24回 赤い羽根共同募金 チャリティ社交ダンスパーティーの開催

鶴岡市をはじめ庄内一円の社交ダンスサークルが一堂に会し、チャリティダンスパーティーを開催します。

- 主 催 チャリティダンスパーティー実行委員会
- 期 日 平成23年10月23日(日)
- 会 場 鶴岡市小真木原総合体育館 3階アリーナ
- 参加費 1,000円
- 問合せ 鶴岡市社会福祉協議会 地域福祉課
☎24-0053

※参加費の一部は赤い羽根共同募金に寄付されます。

「平成23年7月新潟県豪雨義援金」及び 「平成23年7月福島県豪雨義援金」の募集について

7月29日～30日にかけての新潟県・福島県における集中豪雨で被害を受けられた方々を支援するため、新潟県共同募金会・福島県共同募金会では義援金を募集しています。

- 受付期間 10月31日(月)まで
- 義援金の受け入れについて
「平成23年7月新潟県豪雨義援金」

金融機関	支店名	口座番号	口座名義
第四銀行	白山支店	(普)1660049	社会福祉法人 新潟県共同募金会
北越銀行	県庁支店	(普)2005705	
大光銀行	新潟支店	(普)3043002	

※第四銀行・北越銀行・大光銀行各本支店窓口での振込手数料は無料です

「平成23年7月福島県豪雨義援金」

- (1)銀行振込
〈口座番号〉東邦銀行渡利支店 (普)396542
〈口座名義〉社会福祉法人福島県共同募金会
※期間中の東邦銀行本支店からの振込手数料は無料です
- (2)郵便振替
〈口座番号〉02230-1-11204
〈口座名義〉福島県共同募金会福島県豪雨義援金
※期間中の振込手数料は無料です
- 義援金の配分 義援金配分委員会で決定し被災者に配分します

作業所月山 日本財団車両整備事業完了のお知らせ



作業所月山では、日本財団23年度障害者支援施設の車両整備事業の助成を受け、「5tアームロール車」を購入し、空缶・ペットボトル、段ボール・古紙類の収集運搬を安全且つ効率的に行っております。
社会福祉法人 月山福祉会 障害福祉サービス事業 作業所月山 ☎24-8541

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
(平成23年6月21日から平成23年8月20日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センター

- ・上郷小学校卒業生 徒為智会 今野勘左衛門 様
84,245円

◎羽黒福祉センター

- ・羽黒町カラオケ同好会 様 100,000円

◎温海福祉センター

- ・高橋 喜重子 様 106,986円
- ・菅原 良昭 様 50,000円
- ・本間 喜代太 様 100,000円

★鶴岡市ボランティアセンターへ

- ・大部町町内会 夏祭り実行委員会 様
51,740円

★鶴岡市ゆうあいプラザへ

- ・斎藤 民恵 様 10,000円

★高齢者福祉センターおおよまへ

- ・刺し男 様 刺し子花ふきん
- ・大山フードセンター 様 8,600円、鉢花6鉢

★鶴岡西部児童館へ

- ・国際ソロプチミスト鶴岡 様 100,000円

★くしびき保育園へ

- ・株ジョイ櫛引店 様 花苗69本、花用土20袋
- ・県立山添高等学校 様 三輪車2台
- ・平藤 隆 様 カブトムシ雄雌13匹
- ・菅原 剛 様 ミニトマト

★デイサービスセンター愛寿園へ

- ・ふるさと温海会 様 41,110円
- ・匿名 30,000円
- ・斎藤 正行 様 シャワーキャリー1台

★もみじが丘へ

- ・阿部 進矢 様 着物、帯、姿見

「節電の夏」
今年の夏はこの家庭でも節電という言葉に敏感になっていったと思う。我が家では、十一年来使用してきたクーラーを買い替えて、今流行のエコな仕様にした。気温が三〇度以上にならないと使用しないというルールで、夏休み中家にいる子どもたちに言い聞かせた。「待機電力はどうなの？」と意外にも子どもたちから質問があり、少し驚いた。使用しない電化製品は、コンセントを抜き、少しでも節電になるよう試みた。その甲斐あり、電気使用量は昨年比べてマインナスとなり、子ども共々エコな気持ちになったのであった。今の子どもたちは、この便利な生活を当然のこととして受け止めている。資源には限りがあるということを大人も含め今一度、我々に再認識させ、警告していることを忘れてはいけない。
(W)

©ほっと「ラム」

おだがいさま

第36号
平成23年9月15日発行

発行部数 49,300部

編集・発行
社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号 (にこ♥ふる 2階)
TEL 24-0053 FAX 23-9110
ホームページ <http://www.shk01.jp/>

藤島福祉センター TEL 64-3100
羽黒福祉センター TEL 62-4534
櫛引福祉センター TEL 57-5300
朝日福祉センター TEL 53-2795
温海福祉センター TEL 43-3266

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。